Vol.19 No. 5095 Thursday February 28 1924 TAIRIKU NIPPO 大正十三年二月廿八日（木曜日）第五千九十五號

大陸日報
TAIRIKU NIPPO
THE CONTINENTAL DAILY NEWS
Published Daily Except Sunday
148 Cordova St. E.
Vancouver, B. C.
Published by Yasushi Yamazaki
本紙定價 壹月 壹拾五仙 六月 壹拾五仙
電話 バンクーバー 三〇六五

○味噌○醤油 落合商店
電話バンクーバー三〇六五
御便利を計ります

大陸其の日く

代表者歓迎

◇殊勝の新聞

本日から自治會幹部が開催せられる。想加幹部は、地方及び市内を合はせて三十、任期は一ヶ年の各方面、各職業の代表者に新聞せるものであるから、幹部會は、即ち在加同胞代表者會議であるとでいつてよい。

×

昨日一ヶ年間の事業方針も自然其所で決せられ、統一機関としての意志も確定し、其所で明らかにせらるるばかりでなく、各幹部間の方針のどれも、外的並びに對内的活動方針も遺憾なく、其所で統一せられ、幹部の強化なり統一なりは、直ちに在加同胞の全般的生活態度の中心となるものであるから、重大なる意義を有するものであるが、私たちの批評は此所には差しひかへる。

たゞ、私たちの各幹部に對して望み度いことは、各自に對して強み度いことは、各自努めて地方的感情をさけ、總體的見地に立つ事、の冷静、穏健の冷め、と云ふ穏やかな情緒を持して、眼心的に常られんことである。各幹部には、一つ一つの幹部のみを本位とすれば、多少利害の相反する點もあるであらうが、此の幹部に於ては全然一致すべき筈であり、此の幹部を基底とすることによつて協同しはらるべき筈である。

×

私たちの第一に望み度いことは、改造的意志及び情緒の徹底と、改造的意志及び情緒の徹底とを、何なる社會に於ても必要であるが、今の時代、今の在加同胞社會にあつては、殊に夫れが必要である。

×

私たちは、協會に多く幹部

加奈陀在留同胞の將來（三）

水澤六郎（私見）

◇教育調査の結論

▲語學、存在の意義

◇在加同胞永住の方針が確立する。——其の場合、假定する。——其の場合、なるものは、多く論議の必要を感じない事になるであらう。——必然的に純加奈陀主義なければならぬからである。——

日本解體

北白川宮殿下に祝福されれ日佛の戀

當局や周圍に壓迫され 小林大佐涙ながらに退官

一昨年一月二十三日佛國巴里で行はれた「代理人」の佛國ムランの結婚式がたがたの盛儀として世の人に驚嘆されすべての人に驚嘆され又

其の式 は「夫に捧ぐ」

日本の智識を集めて巴里のまんなかで本當に「三々九度」の杯事をしたと云ふ——歐洲輝明は驚異と感歎を惜びせた、其の日本の軍人とは誰あらう

陸軍の 一番乗りであつた

佛蘭西陸軍士官學校から砲兵隊まで一番乗りして來た日本の軍人で多いに將來を嘱望されて砲兵隊に入学するやまもなく佛國留學を命ぜられて一昨年十一月に歸朝するまで前後六年の間巴里のパリーにくらした砲兵大佐小林順一郎氏其の人である

非常はフュルクリン宮殿の才校ガブリエル館である今は亡き北白川宮殿下も東久邇宮殿下も宮殿パリーにあらせられた事として此の事に於ては常に再び繰はされ北白川宮殿は王位に就する御結婚入りの御内の事ずから御ひ求めになつて新夫人へ久邇宮殿も同じく御結婚入りの花嫁を出はつた式には後見人として佛の名士日本側として數十名の佛國側ポール大將外陸軍の將校界の非常に數百十名一堂に參列して美しき結式をあげられたのだ御式後大佐は

千葉に すみ四年間暮る

射撃學校や砲兵學校に佛國仕込の知識をかし（師つてはわたゝかいパーム）の（ブルクリンの）なやかな學校生活の標本其日を送つてゐたが佛蘭西陸軍は何かにつけて驕慢を加へ、從來は其他も一番早かつたのが少佐から中佐にの度る時にはズットおくれてしまつた不例で

不平と 長閑々の情をやつても滿足、二人の中には子供が生れたが、夫人はすみなれぬ日本に（佛國の親戚）から頻度のヒステリーになつてしまつた——軍の秀才小林大佐が日頃すると聞いてしたガブリエル館の身元保證に、「同盟は全身心をあげて日本國のためにさゝげることを決心したのを以て同時に又

日本に 對して代表的佛國婦人たる名をはずかしめざるものと確信」とある事を見ても夫人の知識なる人格の所有者であるか云ふことは判らういつもながら日本魂を極東の巴黎特許の如く心得てる當局のしりのあなのせまさでは外國から、疑ひを受けるも無理はなからう。

燒けた帝劇

愈々改裝に着手

この秋十月には開場

内部の面目を一新して

「いう三樋、あすは」でふのぼりさんにまネ東京名所の一つになつてゐる帝劇もいよ〜〜改築されて四三月前からボッボッ改築工事の下準備を始め出した鐵筋コンクリート造のおかげで内部はずつかり

灰にし たもの〜外觀なだけは殘りあらたに基礎工事から始めてやり直すことかと思へば約百五十萬圓の經費がたすかつた事になつた、再建工事の請負者は前田組工務所で、丸之内電燈事務所で電氣事務をなづねると「すべて」一大改良を加へ本年の九月中旬には必ず改築が完成し、十月上旬にはさんなことがあつても新築の女優出演ではなばなしく開場して見せますよ、こんなやるあらなる建築、設備一切整を合せからざつと百十萬圓ぐらいにもあらうと思ふが、八十萬圓除からの

現金を 第一、三井、三菱、第十五、本井の五銀行に別現金にしてあるのだから金の方はらう

灰になつたが 帝劇の一番乗りであつた二人の男が、何事に取組べられ、二人の男も高らかに答して居るので、此事件の内容を調べて見ると、此の二人の男は、南品川旅ケ崎七九二番地次郎方居住宅（廿二）大崎本郷一七番地村上三郎（居住者）（廿七）と言ひ、三日午後八時頃から、帝劇へ引致されて居た二人の男が、何事に取組べられ、二人の男も高らかに答して居るので、此事件の内容を調べて見ると、此の二人の男は、南品川旅ケ崎七九二番地次郎方居住宅（廿二）大崎本郷一七番地村上三郎（居住者）（廿七）と言ひ、三日午前十一時頃

北品川 字小關五百、東京府荏原郡品川町大字北品川字小關五百、東京府荏原郡品川町大字北品川字小關五百、東京府荏原郡品川町大字北品川

大陸婦人欄

小唄にうたはれた 庄内小町の梅子姫

笑の美しい笑の愛の持主

（前略）上からも云つても絶世の美人で、非常に大切なこと云つて、

今後　の婦人は社会的な方面に活動すべき使命を帯びてゐます、それには笑ひの愛といふ心がけが必要です、同時に家庭にも笑の極意をもつて徹底させて行きたいと思ひます、大阪へ移りましてから四年にもなりますが、大阪の方々は理解の深いのはもうしたものでせう、大阪の婦人は引つ込み思案な所が多い

傳統　からあまり遠く離れてはゐない様な組織が見られます、私は現在の日本婦人界に笑ひの味と同時に自主自覚の運動をおこしたいと思ひます、そして婦人の多いみたいのです、今の日本婦人から一人でも多く、快く笑ふ美しい婦人を社会に送りたいと思ひます、笑ひの研究が私達の一番の使命なんです

春は　夫と共に笑ひの旅をしたいと仏蘭西でございますね、」と夫人はあでやかに笑ふと夫人公の笑する、笑ひの研究が出来る事やら

私邸素人演劇の様に

絵画的のものでもなく、最も純潔的に、しかも親密な空氣の中にあつて、グリケートな感覚を眼の前で味はふことが出来ます、俳優は森英治郎、上山珊瑚、大橋芳雄、水谷八重子、廣瀬すみ子さんなど、いづれも庄内弁を理解した人達ばかりで、あくまでも親密にやつてゐます、舞台装置は主として益田さんがやつて下さいます、これまで私の家を舞台にして、有島さんの（死とその前後）（老船長の幻影）谷崎さんの（愛なき人々）等をやりましたが、観衆（出して）脚本の魅を受ける必要もなく、隨つて制もされず

脚本そのままを上演

すると出来ますから、脚本に描かれた感情を、よりよく味ふ事が出来ます、斯くの如く芸術的に意義がある作りでなく、演劇を娯利的立場から解放するといふ点において、社会的にも可成り意義のある事ですから、私共の室内劇は一つの社会運動とも見ることが出来ませう、今迄単調となく繰返された新劇運動が、此の二つの意義を備へてゐたでせうか……」

恐ろしい鼻の病（一）

醫學士　山下龍太郎

▲市中を歩いてみると鼻汁を垂らしてゐる子供が多い、特に冬期にはそれが一層目につく子供ばかりではない、大人でも水鼻を垂らして歩いて居るのを見かける、元来子供は鼻にかぜらず、すべての点に於いて外氣に対する抵抗力が弱いのと、いくら寒風が吹いても、外へ出て飛び廻るので自然鼻垂らしが多い傾向である

▲鼻たれの原因は第一急性鼻カタル（俗にいふ鼻風…鼻寒冒）第二慢性鼻カタル（アデノイト）第三蕃膿症、第四肥厚性鼻炎、その他いろ〳〵あるが、鼻汁を垂らしてゐる状態から見ると、一時的のものと、永久的のものとがある

……（つづく）

時間に

家事、裁縫、國語などの教練を執り、合唱といふ音楽をも織ねてゐる婦人家である

―殆んど半夜は雪に埋もれるといふ北國新潟田に生れた彼女は、幼少から静かな音楽に心を寄せ、物事に動じない静かに物思ひに耽る習慣なる乙女であつた、南に遠く折重なつてゐる真白い山々が、やがてその地肌を現し初め、空をくつきり分るやうな季節になると

乙女の

胸に燃ゆる情熱は遥る口ないあこがれと変つてゆく、あの山の彼方、鐵路百マイルを越した南には、自分の研究に自由な大きい都があると思つた、けれども、彼の女が郷里の高女を卒へ、永年希つてゐた上京の日が近づいた頃、思ひがけず一大事が起つてその地肌を現し初め、空をくつきり分るやうな季節になると彼の女をいそつた、それは両親の死といふ最大の悲しみに加へて、思郎の左脚を切断するの不幸とであつた――斯くて期待してゐた

みやこ

のふん囲気は、却て彼女のために癒やしきれない懊悩の対象となつた、それから十餘年、今は此の産院の教壇に立つてゐるが、自らは不具だといふ

座敷を舞台に 眞の劇藝術を

味ひ得る「室内劇」

欧塚くに子夫人

夫人は語る

現代の營利的演劇は

芸術家の手に移り、俳優は森英治郎、上山珊瑚、大橋芳雄、水谷八重子、廣瀬すみ子さんなど、いづれも室内劇を理解した人達ばかりで、あくまでも親密にやつてゐます、舞台装置は主として益田さんがやつて下さいます、これまで私の家を舞台にして、有島さんの（死とその前後）（老船長の幻影）谷崎さんの（愛なき人々）等をやりましたが、観衆（出して）脚本の魅を受ける必要もなく、隨つて制もされず

教育法

が必要である、また現在の婦人は自分の意志を徹底し得ざるため、往々不幸を招く事がある、例へば結婚問題の如き生涯の大事を決する場合否が兎角不鮮明のため、所来に禍根をかもすやうな事が深山ある、今後は事に望みて、自分の意志を十分表明し得るやう、養成するのも必要である――と

校長の

した課程の下に、女学部、高等部を通じて、生きた教育法を実践してゐるだけに、東京学院は、色彩の豊つた、しかも思想の新鮮な教育が深山ゐる、その中にも、未だうらやいしとやかな婦人が、松杖に身をすがらせつゝ、雑多な事務を執つてゐるのが来訪者の注意を惹く、しかく、その人は、井手女史と云つて、ある

松葉杖にすがつて 教壇に立つ

人生の傍觀者――

寂しい環境の坪井女史

現今の女學生は

教育や教科書に順応し過ぎる傾向がある、事が他動的で、その結果、自立の念を失つて行く、今後は生徒が自動的に研究思索して、その上で解決しかねる点があつたら、初めて師にたずねるといふやうな

教育法

が必要である、また現在の婦人は自分の意志を徹底し得ざるため、往々不幸を招く事がある、例へば結婚問題の如き生涯の大事を決する場合否が兎角不鮮明のため、所来に禍根をかもすやうな事が深山ある、今後は事に望みて、自分の意志を十分表明し得るやう、養成するのも必要である――と

校長の

した課程の下に、女学部、高等部を通じて、生きた教育法を実践してゐるだけに、東京学院は、色彩の豊つた、しかも思想の新鮮な教育が深山ゐる、その中にも、未だうらやいしとやかな婦人が、松杖に身をすがらせつゝ、雑多な事務を執つてゐるのが来訪者の注意を惹く、しかく、その人は、井手女史と云つて、ある

若き音樂教師 神の國を

―安住の地と幸福の日を送る

淑子嬢

水の都

鯔波の樂壇に咲いた水仙の花――若きピアニスト名出よし子さん（二十一）を、木津川のさゞ波がうちよする西區川口の畔、川口教會の一室にお訪ねすると、よし子さんは『私は幼い時から洋樂に趣味を持つてゐて、こちらの學校を出ると直に、上野の音樂學校の

ピアノ

科へ入學しました、ベートーベンの曲が一番好きです、牧師の娘は、やはり神に仕へて生きねばなりませんが、好きな音樂の方面も、もつと深く研究したいと思つてゐます』と語つた

よし子さんは、昨年の三月音樂學校卒業後、お父さんの保太郎氏とともに

神の國

を安住の地と定めて、雲雀ケ岡學園へ音樂教師として通つてゐる、去年七月同期生と共に中の島中央公會堂でロンドン、カプリチオを演奏して好評を博した

◇投稿歡迎

原稿は成可く解り易く書いて下さい

大陸日報　婦人欄係

野村齒科醫院　ドクトル　野村政太郎　宮永卷起雄
晩市東同ステングス街二〇八、ロール銀行二階　ハイム八、九
十、十一　電話シーモア九四四六
自宅　ハイランド一六一五

診察時間　毎日朝九時より夕七時まで　日曜祝日は正午十二時まで
晩市アレキサンダー街五二二
醫學得業士　**日下清方**　電話ハイ二〇一三エル

東カドバ街四三八
醫師　**石原明之助**　電話ハイランド一一一

診察時間　午前十時より十二時まで　午後二時より六時迄　日曜休日は十二時、一時迄
パウエル街三九一
醫學士　**高橋康百**　電話オフィス、シー五三二〇　自宅チャールス街一八七〇　電話ハイ八九九エッキス

パウエル街三四六
河邊齒科醫院　電話シー三六三七　自宅ハイランド一五〇九エル

ロビー、シー州公認齒科醫　パウエル街二一〇　下高眼齒院内
影山齒科醫院　電話シーモア二四九八

晩市パウエル街二四五
葛原齒科醫院　口腔外科醫院　電話シーモア三四五〇　自宅東第二街一三三七　電話ハイ二五九四エル

三宅齒科醫院　ドクトル　三宅榮壽　東ヘステングス街二一五　電話シーモア八六八六　自宅　電話ハイ二〇二八アール

△土地賣買通辯　保險一般代理業
△無料人事相談所
一、青年男女修學向上法
一、青年男女煩悶解決法
一、寡婦及老人の身上
一、虐げられてある人々達の身の上相談に奥り申すべく候
晩市ゴーア街二一四　元金融社向側
向上之友社　**山田事務所**　主任　山田昌則
電話　事務所シーモア八五一九　住宅ハイランド九九二二

松宮のダラーデー

大安賣　土曜日――一日限り

ダラーで何を買ひ得るか？

黒純毛サックス	三足	一、五〇弗
英國純毛サックス	二足	一、七五弗
編入布手袋	五組	一、二五弗
仕事用ジャケツ		一、九五弗
黒オバホール	ウソの探な大見切	
ソーミル用皮手ぶくろ	三組	一、五〇弗
カーキ色アンダウエーア	一枚	一、二五弗
仕事用オバシヤツ		一、四五弗
同サックス	五足	一、三〇弗
同サックス、	四足	一、三五弗
虎印アンダウエーア	三足	一、五〇弗
ネクタイ		
アミネクタイ	大見切	二、二五弗
サスペンダー		一、四五弗
女アンダシヤツ	二本	一、七五弗
女スタツキング		一、五〇弗
白ネル	二足	一、五〇弗
	四ヤード	一、三〇弗

赤カバト
筋入上等及ビーバー厚手
ゴム付
半毛（ザー色）
腰三十二吋　二十足限り
クリーム色
十四より十六半　厚手
同　毛上等
毛厚手
新柄
シルク
二十九吋幅　二十五枚限り

英國製純毛レンコート
最新流行形
當日に限り特に
一割引
其の他特別大見切品が澤山御座います
是非此のチャンスを利用して下さい

晩市パウエル街二二九
松宮雜貨店
電話　シーモア四一九一

歐洲平和確立曙光

獨逸經濟調査委員會の報告

政治的見地を脱却して調査

〔巴里二十七日〕歐洲の平和と戰後の回復光明の曙光を發見したる獨逸經濟調査委員會は、獨逸の經濟的見地を脱却して調査にて任ぜる獨逸經濟調査委員會は、一昨日の報告書を發表し、獨逸は大戰の結果に因せざるべしと、獨逸の經濟的見地を脱却して調査の結果を報告書に纏め公表すべき

▲ルイス・ロウソン嬢（ルイス州ウオルナット・スプリングスに於ける有名な兩人の娘と生れたのであつた（人陸寫眞））

電報

加奈陀議會の開會

（ヴタワ二十八日）加奈陀第十四議會三セッションは本日議事堂に於て盛大に開會されたり

本日から開催された 日本人會聯絡協議會

午前中は報告で終る

代表出席團体は廿三

ヴタワ二十八日）加奈陀第十四議會三セッションは本日議事堂に於て盛大に開會されたり

▲ヴタワ二十八日）加奈陀第十四議會三セッションは本日議事堂に於て盛大に開會されたり

本日から開催された

日本人會聯絡協議會

午前中は報告で終る

代表出席團体は廿三

日本人會聯絡協議會は豫定の如く本日午前十時半よりオレンヂ・ホールに於て開かれた、出席したる各團体代表者及は新聞は

▲スタヴストン漁業組合、大賀谷太郎、小澤長五郎、田中元吉▲新西陸本人會、玉置房吉、■■■文七▲ホーレアン・フォールス自治會、長崎英吉、長■英一▲第二區漁業協會、鈴鹿■夫、高井光一郎、米山有六郎▲■■國一、安田利太郎▲ケ・ー・ナ日本人會、岩下今朝弘、赤松三郎▲ミッション日本人農會、久保田▲平東農會、矢野破治▲ハモンド日本人農會、辻浦土三郎▲ウオナック、アルビオン、ラスキン日本人農會、新西太郎、井出安藏▲サンマーランド日本人農會、多田熊太郎▲ウッドアイバー一心會、大渡孫右衛門、田村忠長▲ダンカン地方日本人團和會、吉田留吉▲■■放日本人商業組合、内田仙太郎▲■■放日本人旅館業組合、田中■▲■■放日本人理髮業組合、西村源之助▲■■放日本人洋服クリーニング業組合、■■■吉、鈴木利一▲ヘスケングリーンの愛友會、田口千松▲■■奈陀日本人戰友協會、■■上虎之助、■■津東一郎▲加奈陀日本人勞働組合、■■水久吉、吉田■■一▲加奈陀日本人青年聯盟、中■■山▲加奈陀日本人會、有門■太郎、永尾■一、宇都宮■之助、永澤六郎、石井■一、本田百太郎▲■■■協議會、井手■、佐藤信次、其他■■會（加入を申込たる▲フレザーミル同和會、都築■太郎▲新西陸機會、佐々木■■、石山■■▲■■■

新小説

魔笛

吉井勇

（一）

結婚とは（一）

『旦那。もうわつしは飲めませんよ』

『なあに……飲めない。飲めない奴がある物か。いゝ若い者の癖に、飲めないなんて意氣地のねえ話がある物か、さあ。飲めよ。ゐい、ゐい。どうだい、いゝぢやないか』

『いゐ、もう、本當にわつしはやれねえんです。まあ、旦那。お酌をさせて頂きませう』

『ふ酌……。お前にお酌をして貰つても始まらないけれど、折角さう云つてくれるのなら一杯ついで貰はう。がてうだい。もう一杯……』

『もうほんとにわたしは潮山なんで……いや、もう　旦那にやとてもかなひませんよ。しかし、旦那さう召上がつちゃ困ですせ。いつも御贔屓になつてゐるだけにさう滑ひる様に召上がつて居る所を拝見すると、何だか心配でなりませんよ。』

『いや、有難う、有難う。さう云つてくれるのは有難いが、どうもこれはかりは滅に止められないんだ何ゆゑも酒さ。こんなつまらない世の中に、酒でも飲まずにや居られないよ』

『さうですかね。旦那なんか結構な御身分のやうに思はれるんだがそれで矢張り世の中がつまらませんかね』

『何が結構な身分なものか……僅金だらけの貧ぼう別荘……へつわれながらみちめで見てゐられやしない』

さう自分でわざける様な調子で云つて、前の汚いテーブルの上に置いてあつた杯を取り上げて、鮮にしびやうなつめたい酒をくつと一息に飲んだ男は、自分で貧乏別荘と云つた通り、酒に荒んだその顔は、どこか貴族的な氣品がほの見へてゐたけれども、身なりと云へば親ゆづりらしい古風な形のモーニングに、擦のすり切れたオーバコートを着て、あぶらじみの出た中折れ帽をかぶつて、四十三四位のやせ型の、どつちかと云へばしろ見すぼらしい風をして居る。本野彼は鶴岡等思雄と云ふある別荘だつた。

『今でだよ。今ぐわれながらみちめなもへだ』

旦那はもう一度がつくりと傾くやうな格好でさう云つてから、ふいと痛がついたやうに顔をあげて前に置ひ合つて腰をかけてゐる私を、にがみ走つた顔付を、とろんとなつた眼でしばらくぢつと見てゐたが、

『ねえと……お前さんは何かい。もうあすこの部屋には……あの大新には水くゐるのかい』

『ゐゝ、私ですか。さうですね。去年の七月からですから、まあざつと一年半になりますね』

『さうか。それぢやこれまでに、幾度も來せてゐるね』

『ゐゝ、お來せしますとも……この間も牛込の御本かへお供を致しましたよ』

『へゐ、わつしなんで……』

『何ていふんだい、お前さんは』

『私ですか。私はあのう……竹つて云ふんで……』

『大新の竹さん……大竹だよ。しかしお前の所ちあ氣心だよ。おれはもう年はかり勘定としないんだが、それでもよく〳〵を寄越してくれるよ。嘸つて親分に宜しく云つておいてくれ。いゝかい。を忘れちやいけないぜ』

と、旦那はにや〳〵愛ひをしながら、

『へゐ、畏まりました。が、旦那もうそろ〳〵出かけやうぢやありませんか』

『うん、まあ、待つよ』

と云つて、何か思ひ出さうとするやうな顔付で、底びへのわる上がつて來る土間から間淵れのしみのわる天井越と云つた風に、一順に汚いカフエーの中を、ぢろ〳〵眺め廻してゐたが、ふと突き當りの方の隅にかけてあつた活動寫眞の廣告ビラに目を注ぐと、急に不快さうにぐつと顔をしかめた。そこにはモントブルー氏主演「結婚とは」と大きく印刷した青い字が酔眼ながらも鮮かに讀まれた。

『何だい。何が結婚とはだ』

旦那は思はず口に出してこうつぶやくと、杯の底でテーブルをたゝいて、

『おい、姐さん。燃いのをもう一本だ』

『旦那。好うこざんすかい。そんなに召上がつても……』

さう云ふ亭夫の方は見てもしないで、がつ〳〵顔いたよ。

『大丈夫だよ。この位の酒に酔つて堪まるものかい』

勃然とした不正義に對する怒りが、六助の頭に雷雲のやうにわいた。それは、一昨日以來の、自然の力の暴虐に對する怒りと、しつかり結びついて熱情して立あがつた

六助の話

前田河廣一郎

（三）

ところへ、にぎり飯をもちながら『汽車は出るさうです、大丈夫、御安心なさい、わたしの縁家のものが、今朝、佐原から來ましたさあ、これをたべて。その服はいけません、滝川のこれを着て、ね、柳田さん、後生ですから、逃げのびてください！』

と、いつて、かすりの一重物を出してくれた。

『命を惜め！命を惜め！』

六助の心には、早鐘のやうに、その聲がひびいた。

義兄が入つて來て、一束の紙幣を突き出しながら、注意した。

『いま、カヤを片づけたら、見つかつたんですが、これアあなたのでせう？』

『卑劣な人たちですな』

六助はかう獨り言のやうにいつて、二人の前へにがにがしげに笑つて、紙幣と上衣とを受取つた。

『子供の生死を見きはめるまではめつたにこの命は安賣りしませんよ』

さういふ六助の言葉は、滝川の妻君によつて言下に打消された。

『外房州は、なんともないさうですよ』

× × ×

軍用列車は蛯戸から、銚子方面へ廻回して、大原驛へつくまでには、一夜を四街道のプラットフォームで明かさねばならなかつた。

雑司ケ谷から蛯戸驛まで——六助は、大自然によつて、無數の建築と人間とが一大鐵槌で粉碎された真ん中を通つた。ドシャ降りの雨戸驛前に、數萬の批難民とともに彼は一等國民の如何に非常識で、

短篇小説

春の幸福

長田幹彦

（一）

昨夜も遅くに母親を寝せなかつた子供坊は、今朝も早くからひづがに泣しんのので、夫婦のものは六時過ぎまで、朝らせられた。

『この泣さにねは、こんなに早く目を覚ますなくたつて、よかりさうなもんだが、子供つて、どうしてこんなに早起なんだらうね』

と云ひながら、良人の芳田がひよいと時計を直つて、妻の藤栄の方を見ると、藤栄子は身體を横形に前にまげながら、泣いてゐる赤ん坊をすかし〳〵、不馴れな手つきで襁褓を取り替へてゐる。子供は小さな者を左右に廻しながら、聲をからして泣いてゐるのだつた。枕許に吊り下がつた十燭の電燈が、明い光を子供の赤い泣顔の上に投げてゐる、表はまだ真暗で、冬の朝らしく靜かである。

やがて、襁褓を取り替へた藤栄子は、赤ん坊を抱きながら裏向きに横になつた。後からずつと妻の横顔のあたりに見入つてゐた芳田は、正月だといふので久し振りに結つた赤い半衿の大丸髷をつくづくと眺めながら、上く改合ふなアと心の中で呟いた。そしてひとりでに會心の微笑がわき上がつて來るやうな甘い或じがして、彼は急に夫婦者でなければ味あはれないある幸福に浸つて行くやうな氣持ちになるのであつた。

『正月だなア……』と、芳田は、今度は口へ出して、つい獨り言に言つた。

『なんですの？あなたも悲さてらして？』と、向ふ向きながら藤栄子がいよ。

子供は嬉しげに乳房を食はへたらしい。泣き聲ははたと止まつた。

『なんでもないよ』と、芳田は思はず、プッとふき出して、笑ひながら『まだ正月の氣分がするつてことさ。……世界は昭和だね』

『いやですねね。朝つから、變なことばかり……』

藤栄子も、につこりして

『まだ早いんですよ。お休なさいよ。今日は日曜だから、御然つくりいゝわ』

『嫁子は寝たの？』と芳田は聞く。

嫁子といふのは、生れて五月ばかりになる其赤ん坊のことで、夫婦が自慢で付けた名前である。

雪の石狩平原（上）

野山清貢

その夜は、四五日の間も降り續いてゐた雪は珍らしくはれていたの氷やうに冷〳〵さへ渡つた大空には無數の星が、青白〳〵つめたい光りを雪の平原になげて、見渡す限り芒々とした雪の平原は、青白ゐ空の色と、星の光りに、丁度青寫眞の繪のやうに美しく思はせる夜であつた。

偶然一行は、ある事情のもとに人目を避けて町を出なければならない場合であつたので一臺の幌馬車をやとつてある所まで行かうとしたのである。

◇

一行四人は、まん中に一つの石油鑵をまニつに切つて火鉢代用にしてゐる火入れに、あか〳〵といつてゐる炭火から、トロ〳〵とのぼつてゐる焔を見つめていた。誰も一言もいはない。たゞ默々として目をとる紫色にあがつて居る焔の上にやつてゐるのが、ある不安と、焦躁と、寂しい緊張した興奮にとらへられて居る。

『ハイシーッ。ハイヨーッ。しつかり走るんだ』

と、御者の特徴あるかけ聲にまじつて、ピシャリと馬の尻を鞭うつ音が聞へる。馬はその度に、バカ〳〵と足にあたらしい力を踏んで走る。こおつたかたい雪道にカツカツとあたる足の音、チリン〳〵となる馬の首についてある鈴の音ダク〳〵と馬の體から出てくる音それ等が皆一つの調和された響きになつて、北國の雪の夜らしい情緒だ。

◇

時々、馬のけりちらす雪が、風のひる加減で幌のすきから入つて來る。それが顔にあたる。襟元に入る。まつかにいつて居る焔の上に落る。ジユウーと音をたて、ガス臭い湯氣のにはひが鼻の中に入る

馬は一直線にどこまでも限りなく雪の平原を走つた。ソリは水の上を辷る様に氣持よく動く。一行はそれでも默りこゝつて居る。何も言はない。

『すこし幌をまき上げやう。頭が重い』

僕は炭火から發見するガスで妙に頭がグラ〳〵するので、どうぞ一番先に口を切つた。そして、入り口になつて居る幌をあげた。つめたい風にまじつて幌の中へ遠慮いなく入つて來る。

『好氣持ね。あの青白〳〵空に見へるのは何か知ら』

と、スイ女は言つた。見ると白いヴエールのやうな降りしきつて居るゆめをどうして青白く輝いて見へるものがある。

歸郷の前夜

ワイ生

男二十四
女十七
靜寂の夕
一つの机に頬杖ついて
無言の間に
深きため息をかはしぬ

◇

悲しきは
楽しきは
樹での夕は
美しき思ひ出
今一
若き涙に
戯りぬ

御菓子製造
書籍雑誌類
バウエル街四三七
鈴木菓子店
電話ハイランド七七一

U. Morimoto & Co.
御婦人用オバコート
毛皮付種々
特に御勉強申します
同毛皮なしの品も
同様安價に御勉强致します
ウッドワード百貨店より六軒東
西へ　ステングス街五七
盛本商會
電話シーモア貳參壹參
御子供用オバコート　二弗九十五仙以上
其他御婦人用ドレス及絹物種々
お好みに應じ如何なる格好にも御仕立致します

迅速丁寧
尾本運送業
バウエル街二二三
電話シーモア六四〇四
並に車輝、キャンデー、果物類

こうじ製造
即小麦（こうじ）のもとあり
日の出
晩市バウエル街七三三
電話ハイ三九八八八九

御夫婦向適當の貸ルーム
あり二室二弗五十仙以上
大工竹中佐七
バウエル街二一六三
電話ハイ三〇二八エル

バウエル街四三九
九州屋旅館
江島順藏
電話ハイ三九八八エル
ルーミングハウス經營者の御注意
只今の時季は最もヒーティングパイプ及其設備に關する御修繕なさるに好都合です
當店では大勉强で各位の御用に應じます
電話シーモア七七〇
ダブルユープラウン
エ
市内東デヨーグラス街三三三

男子の洋服
スタイル、品質、技工
多田洋服店
晩市西ペンダー街五〇八
電話シーモア八〇三五

和洋雑貨食料品
晩市アレキサンダー街四三三
電話ハイ二一七
福井商店
福井旅館

男女洋服裁縫
クリーニング、プレス
ダイウオーク何れも入念
アポット街三三ウッドワード前
ハビーダ
イウオク
鮫島吉彦
電話シーモア二三八〇

▲▲和洋食料品一切
陶器類
スキーナ河ポートニンソントン
岸本商店
郵便三一

西洋風呂もあります
バウエル街二六一平
壽
電山英熊

運搬業
御用に應じて何時でも
奥津平四郎
東ヘスチングス街三〇七
電話シーモア三〇二〇

御旅館
晩市ジャクソン街壹貳貳
井上倉次郎
電話ハイ一〇貳參エル

△食料品
晩青坂市メイン街二〇八
清水商店
電話シーモア一二五五七

晩市メーン街二九〇〇
電話フエヤモント三七二二
スチート洋服洗濯
染物工場
晩市ブロードウエイ街一四六
電話フエヤモント二〇七八
壹夜
漁業用具一切
△ガヤリンエンヂン
△ランプ、オーニング
VACラバーブーツ
エドワード
リプセット
Phones: Sey. 6031-6032
68 Water St.
Vancouver, B. C.
クレセントルームス
晩青坂市バウエル街二五九
神戸市松
電話シーモア五九〇〇

Abbey's SALT
頭痛と背中の痛みに
特効あり
飲みいです
何れの藥店にもあり
アベース・ソルト

アー……
ドーモ頭が惡くて不愉快でなちん……なぜ〳〵思ひなさる方はよい藥をお服みなされて一日も早く愉快にお暮しなさいませ
良藥は左記に
トツカピン　三弗五弗　十弗廿弗
神惠錠　二弗三弗　五弗
レーベン　一弗二弗　三弗五十仙
健腦丸　六十仙一弗　一弗九十仙三弗六十仙
腦丸　五十五仙一弗
地方の御方は　御手紙送て御注文下さい　早速御とゞけ致します
市内の御方は　電話にて御注文下さい　早速御とゞけ致します
バウエル街三三一　電話シー壹參參五
ワダマン万年筆
特約大販賣店
新見商會
T. NIMI SHOKAI 231 Powell St. Vancouver, B. C.

味噌醤油並に雑穀類卸し
精米の元祖
朝日精米所
バウエル街入二二
電話ハイ一五二

世界の高き
グッドイヤー
タイヤー
其他自動車附屬品一切
晩青坂市メーン街アレキサンダー街角
邦人唯一のグッドイヤー特約代理店
日本オート
電話シーモア一四五八

黄金屋貴石類
金時計並に時計
和洋美術、雑貨
新西晩市第入街三九
中村時計商會
電話一〇六九エー
店主　中村助次郎

宗教狂の少年

一家族を鏖殺す

罪償消滅の錯覺から

フロリダ州セントピータースブルグ市に住む本年十九歳になるフランク・マクドウエルと呼ぶ少年が宗教狂の錯覺に取つかれて一年前火を放つて

親身の妹二人を殺し

更に一年後又妹殺しの同月同日たる二月九日を忘らんで同様に屠殺して殺さんとの世に顔のない犯罪事件がわつた、

藤瀬の夜嵐

第百卅八席

今や昔物が大野の砦めに、戰二つに斬られたかと思ふ時、何處から飛來つたものか一つの石がヒユーッと唸りを生じてとんで來ると刀を振上た大野の右の肩の邊へどしりと當つた。「あつ」と云ふと手が痺して持つて居た一刀をポロリと取落した、所へとんで來た小三郎が小「ゐい、やつ」といふと大野の左の肩先から右の脇腹へ掛けてバクリズッリと斬りおろした。大「あーウツ」と言ふと其儘後へバッタリ倒れる、所へ飛掛つた

俺も一つ此奴を殺りますよ……」例に來た仙太郎が五人力あらうといふ勢ひで、はつと息を吹きかけ、止めを刺してある大野の頭目へ掛けて、ほかりと殺りつけた、可愛相にもう殺らなくとも死んで居ますー所へとんで來た重三郎が重「之ケ若日那、私にも一つ殺らせて下さい」と云ふと之も同じく小さな槍固かためてほかりとやる、幾層の安公が安「へ、若日那わしにも其の、一つなぐらせてかんなさい」ポカリ……安「あ、痛い、わしの手の方が痛いや」

重「おい、稲垣小三郎、よくも水い間俺達四人を苦るしめやがつた……卿覚下さい若日那、